

一般社団法人 日本薬学教育学会 第1回理事会 議事録

開催日時：令和2年8月6日（木）10：00～13：00

開催場所：WEB 会議システム（ZOOM）による開催

理 事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、石井伊都子、石川さと子、入江徹美
亀井美和子、木内祐二、小佐野博史、鈴木 匡、西口工司、長谷川洋一、
安原 智久

<欠席>：小澤 光一郎、永田 泰造、平田 收正

監 事：

<欠席>：市川 厚、小池 啓三郎

オブザーバー（次期監事候補者）：林 正弘、吉富 博則

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

1. 2019 年度第 5 回理事会議事録（案）について（承認事項）

中村理事より前回理事会の議事内容が議事録（案）に基づいて報告された。

2. 役員選挙開票結果報告・非選挙理事の推薦について（報告事項）

乾理事長より資料に基づいて選挙管理委員会から報告された役員選挙の開票結果が紹介された。有権者数 526 名、投票総数 313 票（投票率 57.6%）、有効投票数 303 票で理事候補者、監事候補者全員が信任された。また、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会からの非選挙理事の推薦者が報告された。

3. 2019 年度事業報告について（協議事項）

中村理事より資料に基づいて 2019 年度事業報告（案）が紹介された。薬学実務実習委員会の報告内容については鈴木理事が原稿を送付することとなった。

4. 2019 年度決算報告について（協議事項）

財務担当の亀井理事より収支計算書、貸借対照表、財産目録の主な内容が報告された。収支計算書の内訳としては予算との差が大きい科目を中心に説明が行われた。2019 年度は 2,447,155 円の収入超過で、次年度繰越金は 13,003,420 円となった。事務局からはホームページ管理業務委託費の 2 重請求が見つかり、7 月 30 日付で返金したことが報告された。

2019 年度に初めて実施した公認会計士による外部監査で本会計処理が適正であることが確認されたことが事務局から報告された。社員総会では亀井理事が外部監査の結果も併せて報告することとした。

5. 2020 年度事業計画（案）について（協議事項）

中村理事より資料に基づいて 2019 年度事業報告（案）が紹介された。薬学実務実習委員

会の事業計画については鈴木理事に原稿を依頼した。

6. 2020 年度収支予算（案）について（協議事項）

財務担当の亀井理事より 2020 年度収支予算（案）の説明が行われた。会費収入は 2019 年度の実績に基づいて 9,570,000 円、大会収入は第 5 回大会の予算書に基づいて 6,610,000 円とし、全体で 17,442,000 円の収入を計上した。支出は総額 17,059,000 円を計上し、科目ごとの説明が行われた。会議費と旅費・交通費についてはコロナ禍で当面はオンライン会議が続くことを想定して、増額せずに前年度と同額とし、2021 年度予算では対面とオンライン会議の実施回数について改めて検討した上で予算立てすることとした。また、事業計画に合わせて、委員会活動費と講演会・研究会等開催費の調整を行った。予算（案）を修正した上で社員総会に諮ることとした。

7. 業務委託契約書の更新について（協議事項）

事務局より業務委託契約書の更新案が資料に基づいて説明され、予算との対応や消費税の記載について確認を行った。指摘された点について事務局で確認・修正を行った上で契約を更新することとした。

8. 第 5 回総会の議事案件・シナリオについて（協議事項）

中村理事より WEB 開催に関する事務局との打合せ内容が報告され、事務局からは社員総会と新理事会のシナリオ案が紹介された。新理事会は 15 分程度で Webex Meetings を使用するので、新役員が Webex Meetings を利用できるか事前確認することとした。Zoom での社員総会で本人確認の実施方法については事務局で検討することとなった。

2019 年度に設置された 2 つの委員会の紹介は、事業計画のあとに行うこととした。選挙管理委員会による選挙結果報告については奥委員長に相談することとした。

9. 第 5 回総会 WEB 出欠席フォーム（案）について（協議事項）

事務局から第 5 回総会 WEB 出欠席フォーム（案）が説明され、一部修正してホームページに掲載することとした。

10. 非選挙理事の推薦について（報告事項）

乾理事長より次期役員の非選挙理事として日本薬剤師会から永田泰造氏、日本病院薬剤師会から奥田真弘氏が推薦されたことが報告された。

11. 第 5 回大会の準備状況について（報告事項）

小佐野理事より第 5 回大会の準備状況が報告された。8 月 5 日 20 時現在の参加登録者は 163 名で、第 4 回大会の参加者約 600 名の 3 分の 2 の 400 名を目標としている。一般演題は 71 題の申込みで、第 5 回大会の 3 分の 2 となった。

プログラムの概要が以下の通り紹介された。抄録集の原稿が提示され、プログラムは近日中にホームページに掲載する予定であることが報告された。開会式、授賞式、閉会式についてはこれから乾理事長と打合せを行う予定である。

- ・シンポジウム：15 題（オンデマンド型 11 題、ライブ配信 4 題）
- ・ワークショップ：6 題（ライブ配信 5 題、内容紹介 1 題）
- ・特別講演 岩出雅之（オンデマンド型）
- ・教育講演 安川孝志（オンデマンド型）
- ・学会奨励賞受賞講演：3 題（ライブ配信）
- ・学生優秀発表賞の選考

オンデマンド型は 9 月 27 日（日）23 時 59 分まで参加登録者に提供予定

12. 第 6 回大会の大会長の選任について（協議事項）

定款第 37 条第 1 項「前条の学術集会開催にあたり、理事会の決議をもって会員の中から学術集会会長を選任し、社員総会の承認を得るものとする」に基づき、名城大学の灘井薬学部長を第 6 回大会の大会長に選任した。

13. 第 6 回大会の準備状況について（報告事項）

長谷川理事より、第 6 回大会を令和 3 年 8 月 21 日（土）・22 日（日）に名城大学薬学部八事キャンパスで開催する予定であることが報告された。

14. 第 7 回大会開催校について（協議事項）

乾理事長より第 7 回大会の開催校として北里大学薬学部から内諾が得られたことが報告された。有田理事からは、北里大学薬学部の教授会で承認も得られたことが報告された。

15. その他

- ・担当理事報告（編集委員会、広報等）

➤ 編集委員会

入江委員長より編集委員の交代等については次回以降の理事会で提案することが報告された。日本医学教育学会の学会誌「医学教育」のコロナ禍での遠隔授業等の実施に関する特集記事を参考に、「薬学教育」でもコロナ時代の実践（中間）報告を集める企画が紹介された。各理事に実践報告の可否について検討が依頼された。

➤ 広報委員会

ホームページに 2019 年度に設置された委員会のページを新たに作成すると共に、大会および社員総会の案内をメールとホームページを活用して会員に発信する。

➤ 日本医学教育学会との連携について

日本医学教育学会での多職種連携に関する最近の取組が石川理事と木内理事から紹介された。

➤ 理事長より

現役員による最後の理事会となることから、理事長より退任される役員に対してこ

れまでの貢献に感謝の意が表された。

・次回新理事会の開催について

次回理事会は9月5日（土）の定時社員総会で新役員が承認されたあと、社員総会を中断して開催する（オンライン会議）。

（議事録文責：中村明弘）

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2020年 8月 6日

一般社団法人日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事